

トマトキバガ（害虫）にご注意ください！

トマトキバガとは？

- 南アメリカ原産の体長6mm前後の小さな蛾
- 幼虫が特にナス科植物の葉や果実を食害する
- **耐寒性・繁殖能力**が高いので、侵入後の発生拡大が懸念

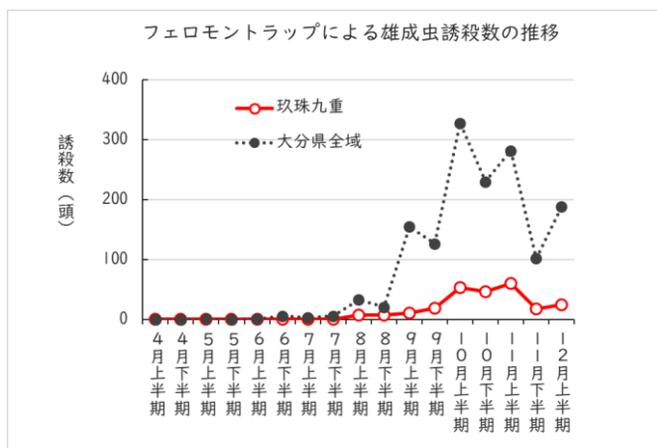


大分県農林水産研究指導センター農業研究部 原図

トマトキバガの県内発生状況・対策のお願い！

◎令和5年県内発生状況

県内9か所のフェロモントラップ（うち4か所は玖珠九重）におけるトマトキバガ雄の総捕殺数が令和5年8月以降増加傾向にありました。気温が低下している12月になってもなお、捕殺されていますので、冬場のトマトハウスの片付けの徹底をお願いいたします。



- 大分県内におけるトマト及びミニトマト圃場内において、トマトキバガによる葉、果実への加害が確認されています。
- 特に芯止め後、防除が疎かになっている圃場で発生している可能性が高いです。
- トマトキバガの越冬を防止するためにも収穫終了後の殺虫剤の散布、ハウスビニールの除去をお願いいたします。
- また、他県ではマルチの裏で繭になっている事例も確認されていますのでマルチの除去、防草シートの剥ぎ取りもしっかり行いましょう。



日本一の
おんせん県おおいた
味方も満載

問合せ先：大分県西部振興局生産流通部 TEL：0973-23-2217